

# テキストの特長と使い方

## 1 本書の目指すもの

本書が目指すのは、「介護の基本のことば」について①読みと意味を知る、②ことばと例文から介護全体のイメージを形づくる、③介護の場面での使用が意識できる、の3つです。ここで示す「介護の基本のことば」とは、介護の分野で最低限必要とされることばを指しています。また、介護現場で実際に必要なことばを学ぶことを重視しています。

## 2 対象者

日本で介護関係の仕事に就くことを目指し、福祉系の大学や専門学校、日本語学校等で学ぶ学習者が主な対象ですが、すでに介護の現場に携わっている方も使えます。初めて介護について学ぶ学習者が専門知識を学ぶ前に学習するテキストとして、また辞書代わりとしても使えます。日本語のレベルは、初級修了レベル以上で使うことを想定しています。

## 3 学習することばについて

学習することばは全部で 1500 語あります。

5つのPartがあり、Part 1 施設のことば、Part 2 体・体調のことば、Part 3 介護のことば、Part 4 制度のことば、Part 5 まとめの問題でまとめています。

## 4 内容とページの見方

本書は、本冊と別冊（解答）があります。

① Part の紹介  
介護のことば Part 3

本冊

② ことばの番号

③ 学習することば

④ 読み方

⑤ 翻訳

831	移動 <input type="checkbox"/> する いどう	Move, relocation 移動	di chuyển Bergerak berpindah tempat (dari kamar ke kantin)
昼食の時間になったので、居室から食堂への移動を促す。			
832	移乗 <input type="checkbox"/> する いじょう	Transfer	chuyển, di chuyển
833	トランスファー <input type="checkbox"/> する たらんすふぁー	移乗	Transfer; Berpindah tempat (jarak dekat : dari kursi roda ke bed)
略 トランス 患者をベッドから車椅子へ移乗する。			

⑥ アイコン  
↑ ↓ 共 略

⑦ 例文

⑧ イラスト

### ① Part の紹介

- ・ 奇数ページの右上に Part を示しています。

### ② ことばの番号

- ・ 学習することばには 1 から順番に番号がついていて、1500 語のうちどのくらい学習したかが一目でわかります。
- ・ 学習することばは、一度出てきたものが重複して出てきている場合があります。重複していることばには、最初に出たところの番号がついています。どんな場面 (Part) でそのことばを使うのか、確認できます。

### ③ 学習することば

- ・ 本書で学習することばを提示しています。
- ・ 多くのことばを漢字で示しています。介護現場で見たときに読めるように難しい漢字も使用しています。
- ・ 同義語は、まとめて取り上げています。介護現場では、話すときと書くときでは違うことばを使っても、実は同じ意味であることがよくあります。同じ意味であることを意識しながら、いろいろな表現を身につけるようにします。
- ・ 同義語は、原則として、一般的に使用することば、口頭表現 (易しい表現) から専門用語、文語表現 (難しい表現)、オノマトペの順に提出しています。

### ④ 読み方

- ・ ことばの読みが確認できます。赤字で提示しているのので、赤シートを活用し、読みの確認ができるようになっています。

### ⑤ 翻訳

- ・ 英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語の 4 か国語の翻訳がついています。
- ・ 同義語については、グループで理解してほしいという意図から、厳密な違いをあえて書かずに共通の翻訳がついています。

例)

756 内用薬	ないようやく	Oral medicine	thuốc uống
757 内服薬	ないふくやく	内服薬	Obat oral/minum
758 経口薬	けいこうやく		

上記のことばは、『大辞林 第三版』(三省堂)によると、次のように示されています。

内用薬……内服薬。

内服薬……口から投与される薬。内用薬。飲み薬。⇔外用薬

経口薬……口から飲む薬。内服薬。内用薬。飲み薬。

辞書ではそれぞれ違う説明がついていますが、例えば、介護現場で「〇〇さんの内用薬を確認してください」と言われたとき、また、記録等で「〇〇さんは明日より点滴から経口薬になります」と書いてあったとき、「内用薬」でも「経口薬」でも、同じことを指しているとすぐに理解できるように、全て「口から飲む薬」であることを示す共通の訳がついています。

## 6 アイコン

II ……上下のことばが同義語であることを示しています。

使用場面において、いつでも入れ替え可能であるという意味ではありません。

I ……上下のことばが対義語であることを示しています。

本書での対義語は、①意味が正反対（例：大きい⇔小さい、遠い⇔近い）、②対照的な関係にあるもの（例：天⇔地、上⇔下）としています。

共 ……共起（コロケーション）の意味で、学習することばと一緒によく使うことばを取り上げています。

また、取り上げている共起は、介護現場で用いられるものを重視しています。

（〇〇〇）となっている場合、そのグループのことばが入ることを示しています。

（例：「(体の部位)が～」であれば、「頭が～／腕が～」）

略 ……省略の意味で、介護現場で使用している省略語を取り上げています。

## 7 例文

- ・できるだけ介護場面で耳にするような言い方を取り上げています。
- ・例文には、後で学習することばが含まれる場合もありますが、日常的によく使用されるものは、そのまま使用しています。
- ・学習することばは太字で示し、共起表現には下線を引いてあります。
- ・学習することば以外には赤字でふりがなをつけています。最初は、文の意味を理解するようにし、慣れたら、その後、赤シートを活用し、すらすら読めるように学習を進めてください。

## 8 イラスト

- ・ことばの理解を助け、イメージができるように、多くのイラストをつけています。

## 別冊

Part ごとの練習問題と、Part 5 まとめの問題の解答です。

## 5 練習問題について

### Part ごとの練習問題

各 Part の最後には、練習問題がついています。

練習問題は、「ことばの読み方を書く問題」「ことばの共起を問う問題」「ことばを使った短文作成」があります。イラストを見て答える問題を含む Part もあります。

学習したことばの読みや共起表現を確認してください。「ことばの共起を問う問題」と「ことばを使った短文作成」の解答には例を提示してありますが、他のことばが入るものもあります。

### まとめの問題

Part 5 は、まとめの問題です。

「対義語の問題」「カタカナ語の問題」「文章の穴埋め問題」があります。

「対義語の問題」は、テキストで①がついていることばの確認です。

「カタカナ語の問題」は、例文の中で正しく使われているものを選ぶ問題です。どんな場面で使うことばかを考えながら答えを選びます。また、不正解の文も、適切なことばを考えてみてもいいと思います。

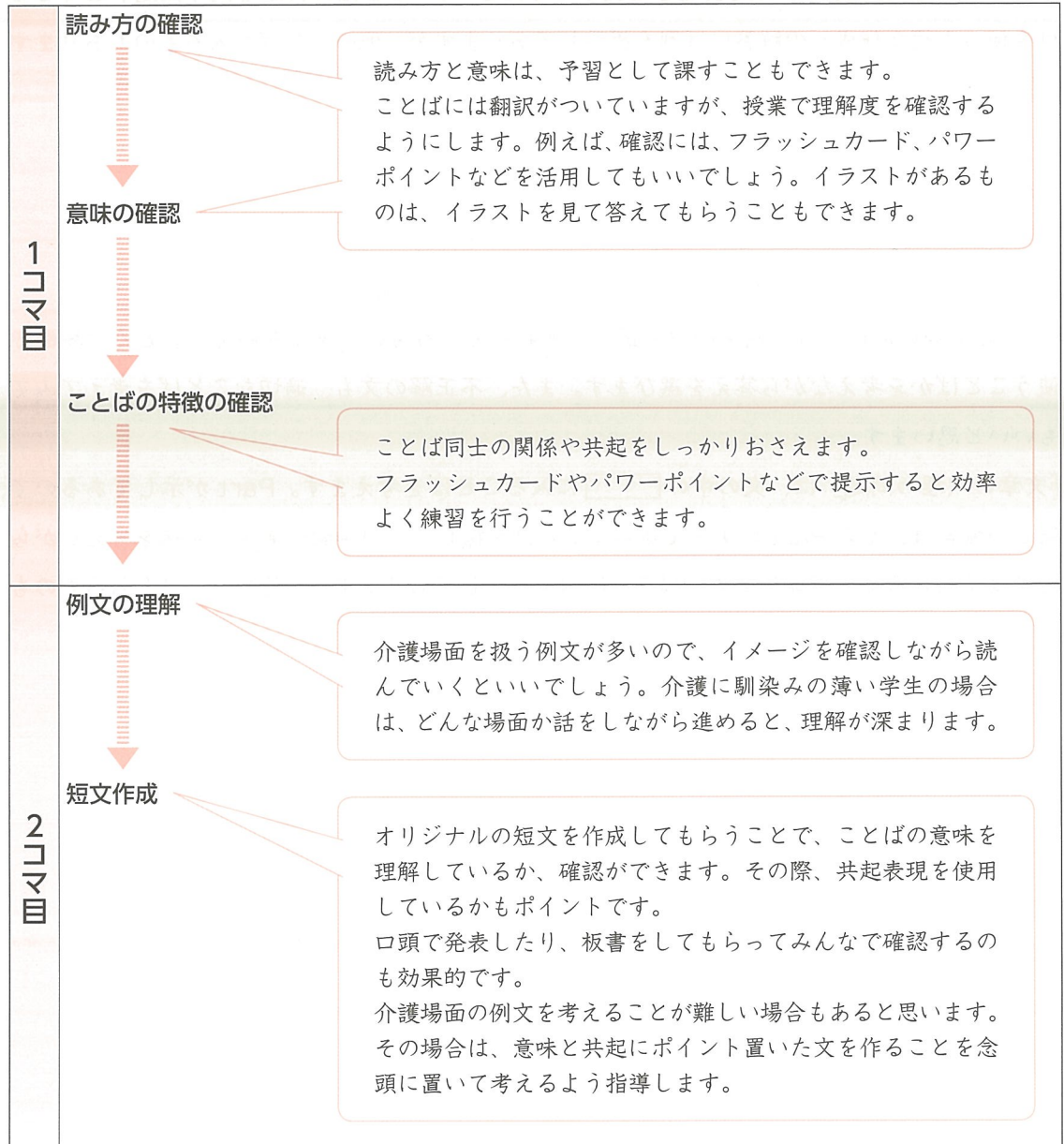
「文章の穴埋め問題」は、文の中の  に入ることばを考えます。Part が示してあるので、難しい場合は、その Part に戻って適切なことばを探し、文の場面や前後の意味を考えながらことばを入れるよう指導します。解答には例を提示してありますが、他のことばが入るものもあります。

## 6 学習の進め方(例)

### ● クラス授業の場合

1日3～5ページを目安に区切りのいいところまで毎日進め、本書を1か月半～2か月で終わらせることを想定しています。

#### 45分×2コマの授業例



各Partが終わったら、Partの最後についている練習問題を解いて、定着度を確認します。また、Part5まとめの問題も発展問題として使用してください。

● 自己学習の場合

毎日、学習するようにしましょう。

1日3～5ページを目安に区切りのいいところまでやってみましょう。1か月半～2か月で終わらせることができます。

まずは「読める」ことを目標に、赤シートを活用して、繰り返し読んでみましょう。その後、意味を確認し、アイコンの罫を確認して、一緒に使うことばを覚えましょう。次に、例文を読みましょう。文がよく理解できると思います。介護現場をイメージしながら、読んでみましょう。例文も赤シートが活用できます。

ことばを学習したら、各Partの最後についている練習問題や、Part 5のまとめの問題にチャレンジして、自分の力を確認しましょう。